



あすか No.7

川崎市宮前区 青少年指導員会 宮前地区広報誌

2008年3月22日 発行

第7号

発行者: 宮前地区青少年指導員会

会長 永野 勝

事務局: 宮前区役所地域振興課内

TEL 044-856-3135

19年度 青少年指導員はこんな活動を行いました

宮前区青少年指導員会会長 永野 勝

■ 体験活動の促進など 五つの目標を取り入れて

青少年指導員は五つの目標を設定して活動しています。①青少年の体験活動の促進、②青少年団体の育成と支援、③青少年に望ましい地域づくり、④青少年に関する相談と対応、⑤青少年に関する調査と情報提供、です。一つ一つの活動にこれらの目標を複合的に取り入れて、地域の様々な団体とも連携をとりながら、活動を進めています。 宮前地区内 12 会場で行った夏の「巡回映画会」、書道と絵画を募集した秋の「作品展」、ウォーキング

とミニスポーツを取り入れた冬の「ディスカバーウォーク宮前」では、子ども会や町会・自治会の方々と一緒に、こども達の体験活動を応援しました。普段は見慣れない、伸び伸び生き生きとした、こども達本来の姿に接して、私達も感動しました。

■ 望ましい地域づくり

宮前区子ども安全・安心協議会の主要な構成団体として、毎週4地区交代で19年度も地域巡回パトロールを行いました。又コンビニや書店等でこども達が手にしやすい形で有害図書が陳列されていないかの調査も行い、同時にたむろしている若者へは、挨拶の声掛けを行いました。

指導員研修会では、区地域教育会議と防犯ネットワークの協力を得て、「地域安全マップ」作成体験を行いました。こども達や若い母親自身の危険予知能力を高めることや、地域で犯罪が起りやすい場所がどのような場所であるか、そして危険な場所の環境改善を今後進めて行かなければならない事が課題として見えてきました。

■ 地域の人々の連携が大切

こども達の応援にしても安全・安心の地域づくりにしても、地域の皆さんとの連携協力が必要です。他団体の行事や会議等にも出来るだけ参加するように心がけました。逆に地域の皆様方も私達青少年指導員の活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。地域で気軽に挨拶を交し合い、顔と顔の見える関係づくりを進めて行き、すばらしい地域づくりができますよう今後も努力して行きたいと思ひます。



ディスカバーウォーク宮前



青少年作品展

19年度 宮前地区青少年指導員会の主な事業報告

期日	事業名	期日	事業名
4/17	平成19年度総会	10/21	第26回宮前区民祭運営協力
4/21	広報誌「あすか」5号発行	11/7	宮前地区青少年指導員会全体会
4/24	18年度ディスカバーウォークみやまえ反省会	11/11	第40回神奈川県青少年指導員大会 大和市
5/15	宮前地区青少年指導員会全体会	11/17	宮前地区青少年作品展前日準備、入選作品審査
6/10	宮前区青少年指導員連絡協議会研修会 「地域安全マップ」作成体験	11/18	宮前地区青少年作品展 宮前市民館 及び入選作品表彰式 宮前区役所
7月中	神奈川県社会環境実態調査	11/～22	宮前地区青少年作品展入選作品展示会
7/14	宮前地区青少年巡回映画会実施・運営 ～8/4	1/27	神奈川県青少年育成活動推進者表彰式 横浜市開港記念館
7/14	青少年の健全育成を進める県民大会 小田原市	1/27	川崎市青少年指導員研修会
8/18	県青少年育成研究大会川崎大会 ラーナ川崎	2/4	川崎市青少年健全育成成功労者表彰式砂子会館
8/25	第9回 響け!みやまえ太鼓ミーティング協力	2/19	宮前地区青少年指導員会全体会
9/2	青少年作品展の為に絵画教室開催・運営	2/24	ディスカバーウォークみやまえ実施・運営
9/9	青少年指導員+PTAによるパトロール情報交換会	3/15・16	宮前地区青少年指導員宿泊研修会
9/22	広報誌「あすか」6号発行	3/22	広報誌「あすか」7号発行
10/13	区老連スポーツ大会運営協力	毎週	地域巡回パトロール 4地区交代で行いました。
10/20	第26回宮前区民祭前日準備・設営	随時	役員会、実行委員会等は随時開催しました。

※ その他、地域町会・自治会他、関係諸団体の行事、会議、研修会、シンポジウム等に協力参加しました。

第5回 ディスカバーウォークみやまえ ～さがそう!わたしたちの自然～

2月24日(日)は、朝から晴れてはいたものの砂埃まう大荒れの天気でした。風が止んでくれることを祈りながら野川第3、第4公園、西団地公園の点検をして各地区からの会場入りに備えました。

宮前平、有馬地区は梶ヶ谷トンネルアート、矢上川、梅の里、南野川ふれあいの森など、宮崎地区は、馬絹神社・古墳、元馬絹町内会長、田辺様の草葺屋根の家見学、梅の里などの野川散策はいかがでしたか。地元野川市は、JR貨物梶ヶ谷駅のターミナルの見学をメインに歩いてきました。

11時に会場入りした約300人の参加者が昼食を取った後、12時からセレモニーが行われ、全員でのフィールドビンゴでゲームを開始しました。有馬のロープ遊びと大縄とび。宮崎はドッチボールと輪投げ。宮前平はカモフラージュで、野川はペーゴマとパターゴルフ。大風の中埃まみれになった子どもたち、さすが風の子ですね。ゲーム機を持ってじっと座っているより風と一緒に遊んでいる方が、見ているこちらも楽しくなりました。終了後、真っ黒になった子どもたちは其々の地区に歩いて帰って行きました。大人の皆様、お疲れ様でした。そしてご協力ありがとうございました。この日のお風呂は特に極楽でした。(野川地区 小野瀬朋子記)



有馬地区(一部宮崎地区も含む)ではディスカバーウォークみやまえのアンケートを下記のように取りました。

回答数

小学生	27	大人	28	合計	55
-----	----	----	----	----	----

1. 今日は楽しかったですか。 はい 51名 いいえ 4名

2. 野川第3・4公園までの道のりは楽しかったですか。 はい 53名 いいえ 2名

3. どんなゲームで遊びましたか。

4. 屋外、屋内でやってみたい遊びを教えてください。 たこあげ、バスケットボール、けいどろ、バナナゲームなど

主な遊びの分類	小学生	大人
なわとび	17	1
ロープ遊び	10	2
フィールドビンゴ	19	4
輪投げ	12	1
ドッチボール	12	1
ティーボール	2	0
ネイチャーゲーム	2	1

5. 気づいたこと、感じたことがあれば書いてください。 風が強かったけれども、楽しく過ごせた(10人)。遊びも盛りだくさんで良かった。途中、休憩した時に、アメ、チョコを配ったことが良かった。大変だった。久しぶりにこんなに歩いた(子ども)。寒いので時期的なことを考えてほしい(6人)。強風注意報が気象庁から出ているのに実施するのは疑問です。主催者側と温度差を感じた。野川公園でタバコを吸いながら指導している男性がいた。公園の端の方でお願いします。(審判が不足していたので、口に笛【色、大きさからタバコに見える】をくわえていたので見間違いであってほしい)。

2月は確かに寒い。「春一番」が吹く場合だってある。行事を実施する良い季節はいつなのだろうか。寒い時期が嫌いな方は暑い時期も苦手だろう。4月は入学、新学期、6月は梅雨、12月は年末、1月はお正月時期である。そのような時期を考慮して、各町内会・自治会、各学校などの行事が、5月、7月、10月、11月にめじろ押しなことも頷ける。そもそも2月になったのも行事が重ならない時期に実施して、たくさん子どもたちに参加してほしいという願いからだったが、その開催時

第22回宮前地区青少年作品展 入選者

【書道の部】(入選者 17名)

No.	学年	氏名	所属子ども会
1	小学1年	岩本 優大	宮崎台住宅
2	小学1年	金児 莉紗	花の台
3	小学2年	山方 悟	野川
4	小学2年	藤本 さくら子	馬絹小台
5	小学3年	渡辺 大智	宮崎
6	小学3年	酒井 麻衣	野川
7	小学3年	尺田 咲季	野川
8	小学4年	伊藤 茉莉子	花の台
9	小学4年	真島 結菜	馬絹小台
10	小学4年	小西 勇輝	花の台
11	小学5年	福井 沙也果	野川
12	小学5年	二井 佳奈子	有馬
13	小学6年	星 南穂子	有馬
14	小学6年	柴田 菜摘	有馬
15	中学1年	采女 あやな	野川南台
16	中学2年	増田 結衣	野川南台
17	中学3年	諸原 幸枝	野川南台

【東京新聞社賞】

中学3年生	諸原 幸枝	野川南台子ども会
-------	-------	----------

【青少年指導員会会長賞】

小学4年生	真島 結菜	馬絹小台子ども会
-------	-------	----------

【区長賞】

小学6年生	星 南穂子	有馬子ども会
-------	-------	--------

【絵画(1~17)・ちぎり絵(18~20)の部】(入選者 20名)

No.	学年	氏名	所属子ども会
1	小学1年	佐々木 峻	有馬
2	小学1年	佐々木 駿	有馬
3	小学1年	入江 鮎嵩	鷺沼
4	小学2年	久木元 柊太	花の台
5	小学2年	及川 晴日	馬絹小台
6	小学2年	小林 さゆき	馬絹小台
7	小学2年	黒田 留以	馬絹小台
8	小学2年	渡辺 航	一般
9	小学3年	別所 杏将	馬絹小台
10	小学3年	安斉 ありさ	野川
11	小学3年	高橋 幸大	宮崎
12	小学3年	上田 真子	花の台
13	小学4年	喜屋武 匠	花の台
14	小学4年	真島 結菜	馬絹小台
15	小学5年	久郷 浩幸	花の台
16	小学5年	梅原 春香	花の台
17	小学6年	喜屋武 彩	花の台
18	小学1年	木原 美希	有馬
19	小学2年	まつお けいぞう	馬絹小台
20	小学5年	名古屋 梢	馬絹小台

【東京新聞社賞】

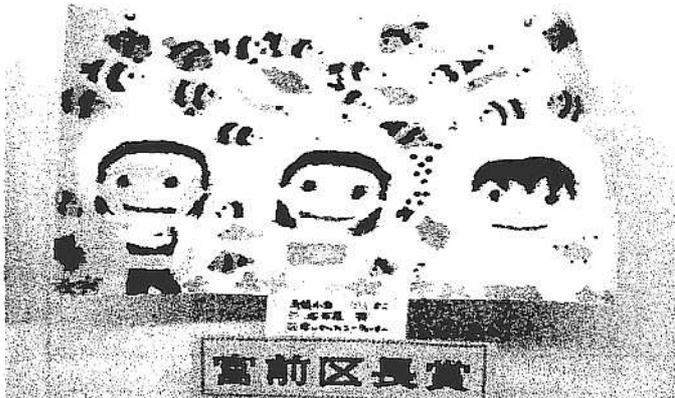
小学3年生	安斉 ありさ	野川子ども会
-------	--------	--------

【青少年指導員会会長賞】

小学2年生	渡辺 航	一般
-------	------	----

【区長賞】

小学5年生	名古屋 梢	馬絹小台子ども会
-------	-------	----------



作品展が、宮前市民館(4階)、表彰式が宮前区役所(4階)にて11月18日(日)、入選作品展示が、区役所 区民ギャラリー(2階)にて11月18日(月)~22日(木)に行われました。今年もたくさんのすばらしい作品が展示されました。この中から区長賞を受賞した星南穂子さんと名古屋梢さんから喜びの言葉を書いていただきました。

馬絹小台子ども会 小学5年 名古屋 梢

私は、長い休みにバリ島へ行きました。バリ島での一番の思い出はシーウォーカーです。海にはいったら色あざやかな魚がたくさんいてびっくりしました。エサをあげたら私をかこむようにたくさんの魚がよってうれしかったです。そんなバリ島の海をちぎり絵にすることは大変だったけれど、区長賞を受賞できてとてもうれしかったです。

有馬子ども会 小学6年 星 南穂子

私は去年、題字をまちがえて努力賞でした。しかし今年は区長賞というこのようなすばらしい賞をいただけてうれしいです。このような賞をいただけたのもわざわざ休みの中教えて下さった先生のおかげだと思っています。先生には本当に感謝しています。私は6年なので今年で最後ですけれども、中学生になっても書道が続けていきたいです。私を区長賞に選んでいただいた方々に本当に感謝したいです。ありがとうございました。

巡回パトロールについて

犯罪率が日本でも急増していますが、私たちが犯罪の少ない、安心・安全な地域にしていくのにはどうしたら良いのでしょうか。この問題を解決する一つの活動として私たち青少年指導員は、「地域の青少年は地域で守る」という視点から平成16年度より巡回パトロールを実施しています。繁華街や祭礼夜店だけではなく、学校周辺、公園、コンビニエンスストア、ビデオ店などをチームを組んで巡回パトロールをしています。町内会、自治会、小・中学校のPTA校外委員、わんわんクラブなどのいろいろな団体も、子どもたち、青少年を見守りながら、巡回パトロールを実施しています。そしてそのようなパトロールが、犯罪の予防や抑止力にもなっています。

見守り、巡回に加えて、犯罪に遭わない環境づくりもなされています。例えば、防犯ネットワーク、各中学校区地域教育会議による「安全マップ作り」、各小学校による「安心安全推進会議」、宮前区地域巡回パトロール活動情報交換会などが実施されています。

私たちは、いつ、どこで犯罪に遭うか分かりません。そのために、私たちができることは犯罪者が出にくい、遭わない環境作りを地域全体で実施していくことだと思います。そしてこういう地道な活動こそが安心・安全な地域にする近道だと思います。これからも、青少年指導員は一丸となって地域の子どもたち、青少年を地域で見守り巡回パトロールを実施してまいります。

有馬地区 巡回パトロール風景



下記の通り、宮前警察発行の「かわら版」によると確実に宮前区内の犯罪が減少していることを示しています。このことは、日頃の宮前警察による巡回パトロールによる賜物ですが、地域が一丸となって実施している巡回パトロールによる成果の表れであるとも言えるかもしれません。

主な罪種別発生件数(平成18年1月～12月末現在)宮前区内 1,665件 昨年比 マイナス 514件

罪種	強盗	傷害	恐喝	窃盗	(窃盗の内訳)								その他	総数
					空き巣	忍び込み	自動車盗	車上狙い	ひったくり	オートバイ盗	自転車盗	その他		
本年件数	6	30	11	1242	152	12	26	155	42	145	240	470	376	1665

主な罪種別発生件数(平成19年1月～12月末現在)宮前区内 1,491件 昨年比 マイナス 174件

罪種	強盗	傷害	恐喝	窃盗	(窃盗の内訳)								その他	総数
					空き巣	忍び込み	自動車盗	車上狙い	ひったくり	オートバイ盗	自転車盗	その他		
本年件数	3	28	3	1147	111	20	29	64	33	170	327	393	310	1491

(みやまえ警察 かわら版 2007年2月第30号と2008年2月第42号より)

編集後記 私たち青少年指導員は、子ども達が楽しく健やかに育つ安全な地域づくりになりますよう全力を尽くしてまいります。私たちの活動にご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。編集委員 小川栄子・上園芳子・斉藤喜則・塚本利男